

# 追い払い・誘引物対策のススメ

追い払いと誘引物対策をせずに、サル対策に成功した事例は、全国で一つもありません。

ひとりひとりが、追い払い、誘引物対策をすることが、サル害軽減の要です。

## ×サルに一番経験させてはいけないこと×

- ここに来たら、安心してメシが食えると思わせること。
  - ・サルを横目に素通りすること
  - ・おいしそうなものを目の前に見せること
  - ・農地・集落内で食べ物を安心して食べさせること

## ◎サルに経験させなければならないこと◎

- ここでは、いつもメシにありつけないと学習させること
- ヒトに見つかったら、恐ろしい目にあうと学習させること
  - ・生ゴミ、未収穫果樹、不要残渣も含め、集落内で食物を食べさせない。
  - ・サルを見つけたら、素通りせずに、必ず追い払う。

## ◆追い払いとは、、、◆

- |    |  |
|----|--|
| 効果 | <u>①その場からいなくさせる</u><br><u>②人馴れの進行を遅らせる</u> |
|----|--|

ロケット花火など、追い払い用具に馴れてきて、効かなくなったと感じる事があります。

しかし、追い払いをすることで、ヒトとサルとの緊張関係を保ち、サルの人馴れを遅らせる事ができます。

あきらめず、ロケット花火はサルに向けて撃ち続けて下さい。

# 追い払いと誘引物対策が重要

今日からはじめられる、最も重要な対策！

## ◆追い払い◆

●サルを見つけたら、必ず追い払いをする。

- ・他人の農地でも、集落・農地から離れていても追い払う。
- ・道具が無くても、石を投げたり、棒を振り回して追い払う。
- ・ロケット花火、電動ガン、パチンコは、サルを狙って発射する。

●ロケット花火の音が聞こえたら、自分も追い払いに参加する。

●山の中まで追い払いを続ける。

●子どもが助けを求めてきたら、保護して、追い払います。(高学年以上は、一緒に追い払いをする)

## ◆誘引物の対策◆

●生ゴミ、不要残渣、お墓の供花・供え物は食べれないように処理する。

●いつも被害にあう果樹は、樹高を低くして守りやすくする。

●家の窓や戸は施錠する

# 【※ 家の中に入ってきた場合の注意！】

人馴れが進んだ群れでは、家の中に侵入する個体が発生する場合があります。

侵入回数や侵入される戸数を増やさないために、何かと不便になりますが、下記にご注意下さい。

## ◆まずは、侵入されない対策を！！

●「家の中に、はいれない」ようにする

●「入っても食べ物にありつけない」ようにする

- ・戸締まり・施錠を徹底し、侵入させない。
- ・「家の中に入って、食べ物にありつけた」経験をさせないため、簡単にとれる状態で食べ物を放置しない。  
(例:仏壇のお供え物・供花、居間・台所の食物など、、、)

## ◆それでも家に侵入された場合

●まず、自分とご家族の安全を確保して下さい！

●サルの侵入に気づいたら

- ・ヒトがいることをサルに分からせる。
- ・目をあわせない。
- ・自分からゆっくり退去する(背中を見せない)。
- ・余裕があれば、侵入経路以外の部屋の戸を閉める。

●サルが居座る場合

- ・壮年の男性に、家にゆっくり入ってもらう
- ・人もサルも逃げられるように、戸や窓を開ける。  
(脅かすと、糞や尿をまき散らすので大変です  
また、逃げ場の無い中で脅かすと、危険です)

●サルが家から出たら

- ・近所に協力を求め、家から出てきたサルと群れを追い払う

# 【※ 追い払い時の注意！！】

人馴れが進んだ群れでは、下記のような個体がいる場合があります。

(※ このような個体を追い払うのは危険が伴いますのでご注意ください)

## 【特徴】

- 追い払うと、近寄ってきて至近距離で威嚇する。
- 威嚇して、相手のひるみ具合を瞬時に判断する。
- (多くの場合)色つやの良いオス



追い払い時には、上記の個体にご注意下さい。

## 【上記の個体がいる場合】

- 威嚇されても、後ずさりせず、向かって行ける自信のある方以外は追い払いをしない。
- 高齢者、女性、子どもは、単独で追い払いをしない。
- 複数人数でも自信が無い場合は、無視をする。
- 背中を向けて逃げない。  
(サルが追いかけてくる可能性があります)
- 追い払い時は、棒を持ち、電動ガンも携帯する。

## 【上記の個体がない場合】

- 近所に声をかけて、複数人数で群れに向かって追い払いをする。